

# くらき永田保育園便り



先月の全体懇談会には9割を超える保護者の皆さんに参加していただき、また、アンケートを通して暖かいメッセージをありがとうございました。全国には2万以上の保育園がありますが、これだけ保育に興味関心をもってくれる家庭の多い保育園を僕は知りません。おかげさまで職員のやる気スイッチも入り、気持ちよく令和6年度のスタートを切ることが出来ました。また、「絵本に力を入れます」「みんなで子どもの国を作ります」といったワードに対して、様々な保育を豊かにするための提案までいただき感激しています。保護者の力を借りられれば僕らの想像を超えるような素敵な保育が展開するのではないかと夢想しています。

さて、懇談会でもお話した通り、「こどもまんなか」を実現すべく、早速、明日行われる「こどもの日」の行事にも子どもたちが参加・参画してくれています。年長いきいき組の子どもたちがこどもの日の由来などをクイズ形式にして伝えてくれるそうです。「自分が人に働きかけるのと、社会が変化する」ことを実感できる体験を日々の生活の中で体現していきたいと思います。

## 新たな保育園の支援者登場

4月30日に突如、大根の無料配布を行いました。これは、三浦半島で80品目を超えるお野菜を育てている小川農園さんのご厚意によって実現できました。今年度から本格的に連携することになった農家さんですが、来月には交流第一弾としていきいき組さんがジャガイモ掘りに行きます。三崎の朝市でも有名な小川農園さんですが、保育園でのマルシェも実現出来たらと思っています。保護者の皆さんにも是非ご紹介したい素敵な農家さんです。

お願いがたくさんあります。

- ① 各家庭の保育要件を決定するために現況届により保育必要量を確認することになります。提出がない場合は保育の必要性が確認できず給付認定が取り消されることもありますので5月15日までに事務所まで提出をお願いします。ご不明な点がありましたら区役所、または事務所にご相談ください。
- ② 懇談会の時にもお話ししましたが5月14日（火）午前中に園庭の遊具の塗装や園庭改造を行いますのでパパ・ママ問わず、お手伝いの方を募集しています。園庭の遊具がきれいになることで子どもたちが遊具を使って遊ぼうという気持ちが高まるのはもちろんですが、楽しそうに大人がペンキを塗ったり、大工仕事をする姿を子どもたちに見てもらうことこそ教育効果は高いと思っています。難しい技術などはいりませんので奮ってご参加ください。
- ③ また、別件ですが今年度も玄関ホールなどでカイコの飼育を行います。桑の葉をバリバリ食べるカイコの姿は乳児さんも真剣に観察する姿が見られ、貴重な学びの機会となっています。しかし、今年も「桑の葉」不足という食糧問題が起こることが予想されますので、桑の葉が入手できるルートなど教えていただけるとありがたいです。

## 各クラスの「イヤだ」の気持ちの受け止め方をお伝えします！

### にこにこ

四月から入園したにこにこぐみの子どもたちですが、保護者の方と離れるのがイヤだ、ミルクを飲むのがイヤだ、お尻が濡れていることがイヤだなど様々な場面で「イヤだ」の気持ちを一生懸命保育士に伝えてくれています。

そんな時でも保育士がわらべうたを歌ったり、抱っここの仕方を変えてみたり、ニックスロープという追視するおもちゃを見せたりすると、安心して笑ってくれる姿が見られるようになってきました。このように子ども一人ひとりの特性に合わせて対応したり、眠くなる時間やおなかの空く時間を職員間で共有することを大切にしています。また、保護者の方に教えてもらった自宅でのあやし方やお子さんの特徴を参考にして実践していくうちに少しずつですが、保育士と子どもとの関係が少しずつ出来上がってきているように感じます。

これからもイヤだの気持ちを伝えてくれる子どもたちに、安心してもらえる時間や場所を作れるようにしていきます。

### よちよち

近くで遊んでいる友だちの使っている玩具はついつい欲しくなってしまいます。でもよちよち組の子どもたちは自分の気持ちを上手に伝えるコトバをまだ持っていません。「か～し～て～」 「待っててね～」といった言葉も聞かれるようになってきましたが、順番が待てずに行動で割り込もうしたり、言葉より先に手がでたり・・・そんな時に保育士は子どもたちの気持ちを受け止め代弁することを大切にしています。玩具を手放したくないという「イヤ！」が見られた時などは、「〇〇くんも使いたいんだって」「〇〇ちゃん待ってるね」「もう少ししたら代わってあげる？」などと声を掛けると、少し遊んだ後に「はい、どうぞ」と友だちに使っている玩具を貸す姿が見られます。貸してくれたことに対しても、「貸してくれてありがとう」と伝えると“褒めてもらえた！”ことが嬉しくて次も貸してくれています。これからも子どもたちの様々な気持ちに寄り添い、想いに応えながら保育していきたいと思えます。

## すくすく

子どもたちは「イヤだ」という気持ちを言葉や行動など色々な形で私たち保育士に伝えてくれています。お部屋で、遊びたい玩具を友だちが使って遊べないことで「イヤだ」と泣いているAくん。保育士はAくんの「イヤだ」という気持ちを出来るだけ汲み取りたいと思い、声をかけたり、あえて声をかけずにそばで見守っていたり、抱っこさせてもらったりしました。Aくんの「イヤだ」という気持ちは、初めは玩具を使いたいのに使えないということに対して、その後は、「貸してって聞いてみようね」と声をかけてくる保育士に対してなど、色々な方向に変化しているのだと感じました。

私たちは、揺れ動く子どもたちの「イヤだ」という気持ちに対して、同じ方向を見ながら寄り添い、どうしていいかと一緒になって考えていきたいという想いで関わっています。これからも、子どもたちが様々な感情の中で揺れ動く時間をたっぷりと保障していき、一人ひとりが安心して自分の気持ちを表すことができるようにすることを大切に過ごしていきたいです。



## 異年齢

「イヤだ」を受け止めるには、理由を理解する必要があります。言葉で伝えてくれる子どもいますが、泣いたり怒ったりが始まると伝えるのが難しくなります。そんな時、状況を見守って理由を理解していれば、伝えられない子の気持ちを代弁したり、子どもが話し出すきっかけになる言葉かけができるでしょう。「イヤだ」の理由は事柄なのか、タイミングの問題なのか、全く違う理由なのか、子どもの想いを聴いたうえで、その時のその子に合った対応を選んで援助するようにしています。

また、異年齢クラスには心強いサポーターがたくさんいます。それは、クラスの友だちや年上の子・年下の子です。困っている子に気付いて心配そうに見つめたり、「どうしたの?」と優しく声を掛けたり、頭や背中を撫でてあげたり、寄り添ってくれる友だちの存在は、時には大人よりも力になります。

更に、子ども同士で「イヤだ」を伝え合ったり受け止め合うための場所が異年齢保育室にはあります。その名も『ピーステーブル』。想いを相手に伝えられるようになった子同士が、ピース（和平）に向けて話をする場所です。この場所を活用できる子が増えるように、「イヤだ」を子どもが自分らしく居るための大切な表現の一つとして受け止めながら、一人ひとりの心や言葉・人間関係の成長を見守っています。

## 給食室

新しいクラスになって一か月が経ちました。  
毎日、食堂には元気な声が響いています。  
カウンターが開いていると、給食やおやつの作り方を聞きに来たり、給食室の様子を見に来る子が今年はたくさんいて、色々とお話を聞かせてくれます。なかなか子どもたちと直接ゆっくり話す機会が持てない私たちにとって、このカウンター越しのやり取りはとても楽しい時間です。

保育園の給食では、できる限り旬の食材を取り入れるようにしています。  
4月には、たけのご飯を出しました。このたけのこ、いつも食材を届けてくれる永田屋さんのお店であく抜きした（茹でた）ものを使いました！いい香りで、柔らかくて、とてもおいしいのです！  
お店でも売っているので、ぜひ行ってみてくださいね！

今月はグリンピースご飯が登場します。  
さや付きのグリンピースから豆を取り出す作業は、異年齢の子どもたちにお願いしようと計画しています。苦手な子もたくさんいますが、食事作りに関わることで、興味や意欲につながり、だんだんと苦手が減っていったら嬉しいなと思います。

## 遊言係より

遊言育係では『子どもも職員も遊びから学ぶ』をテーマに活動していきます。  
現在ある玩具を整理することで、子どもの育ちのポイントを職員が学び、一人ひとりの発達に合う玩具を提供しながら子どもたちの笑顔を増やしていくことを目指します。また、手作り玩具の心地よさや可塑性のある玩具で創造性が豊かになってもらえたら嬉しいです。保護者の皆様で手作り玩具に興味のある方は気軽にお声掛けください。

絵本・わらべうたを通して、子どもたちと言葉の響きや心の感動を増やす時間を大切にしていきます。職員も久保先生の研修に参加することで、わらべうたの奥深さを体験して子どもたちに楽しさを還元していきます。

- \* 保護者の皆様も絵本コーナーにある絵本を手に取り絵本の良さを味わってください。
- \* 定期的に行っているトイ活にも、是非ご参加ください\*

## 食育係より

今年度の食育係は『生活の中の食と関わるきっかけを大切にしていこう』『食のストーリーを子どもや保護者とも共有し楽しんでいこう』をテーマに活動していきます。植育活動などでも育てている野菜だけではなく、その環境の中で子どもたちが興味を持ったモノや事象に対して興味関心を広げていき、そのストーリーを子どもたちや保護者の皆様と共有していきたいと思っています。その中で子どもたちが食べ物に自ら働きかけられるように楽しみ方をしていきたいです。

また、クッキング活動も再開していこうと計画しています。イベント的に単発で終わるようなものではなく、植育活動や日々の給食に関わる物など毎日の生活の中で子どもたちが出来るクッキングとは何かを模索していこうと思いますので、保護者の皆様もぜひ保育園での活動を家庭でも行っていただけると嬉しいです。

一年間よろしくお祈りします。

## 木育係より

今年度『園庭、テラスの環境構成をする』『身近な自然や生き物に興味を持ち、好きになる』

をテーマに活動をしていきます。

子ども達が毎日の保育（遊び体験）を通して継続的に興味関心、探求心を深め、自ら環境に働きかけていけるようにしていきます。また、ワクワクするような自然遊びが出来るように園庭、テラスの多様性生き物を豊かにする環境構成をしていきます。

今年は、野遊び、自然遊びだけではなく、魅力的な『外保育』（アウトドア保育）を考え、実践して多くの経験をしていこうと思っています。

親子で自然に興味関心もち、共に楽しめる提案やアイテム、園の植物の紹介なども発信していきますので休日の遊びや近くの公園など身近な所の自然に触れて楽しんでもらえると思います。

最後に、

今年も子どもたちが大好きな『蚕（カイコ）』が来ます！5月下旬以降の孵化となる予定です。今年も蚕のご飯「桑の葉」がたくさん必要となるので、「桑の葉」を大募集します。皆さん、ご協力をお願いします。※募集時期は後日、お知らせします。

## 今月の行事

- 2日 こどもの日の祝い
- 3日 憲法記念日
- 4日 みどりの日
- 5日 こどもの日
- 6日 こどもの日 振替休日
- 11日 トイ活①  
布団乾燥
- 14日 誉さんペンキ・シェード取り付け
- 16日 久保先生のわらべうた
- 22日 梅もぎ（わくわく・いきいき）
- 24日 梅ジュース作り
- 27日 クーベルチップマルシェ
- 29日 内科健診①